

奈良公園基本戦略の進捗状況

平成31年4月26日
奈良県

目 次

I. 奈良公園の変遷

1. 誕生（明治13年～）	1
2. 拡張・充実、名勝指定（明治20年～昭和2年）	2
3. 社寺境内地の解除（昭和15年～昭和26年）	3
4. 県立都市奈良公園（昭和33年～現在）	4
5. 名勝奈良公園指定範囲	5

II. 奈良公園基本戦略（平成24年2月策定）

1. 基本方針	6
2. 施策・事業を実施する箇所（位置図）	7
3. 奈良公園の施策・事業の体系図	8

III. 吉城園周辺地区及び高畑町裁判所跡地の検討経緯

1. 奈良公園地区整備検討委員会及び部会の位置づけ	9
2. 検討経緯	11

I. 奈良公園の変遷

1. 誕生（明治13年～）

- 公園制定の「太政官布達」を受け、廃仏毀釈の後に官有地となっていた興福寺境内を公園地として開設
- 奈良公園は、明治期、住民有志が興福寺旧境内の環境を守るため、花樹を植えたことを契機に誕生

①誕生：明治13年、約14ha



奈良公園



東大寺

若草山

県庁

興福寺

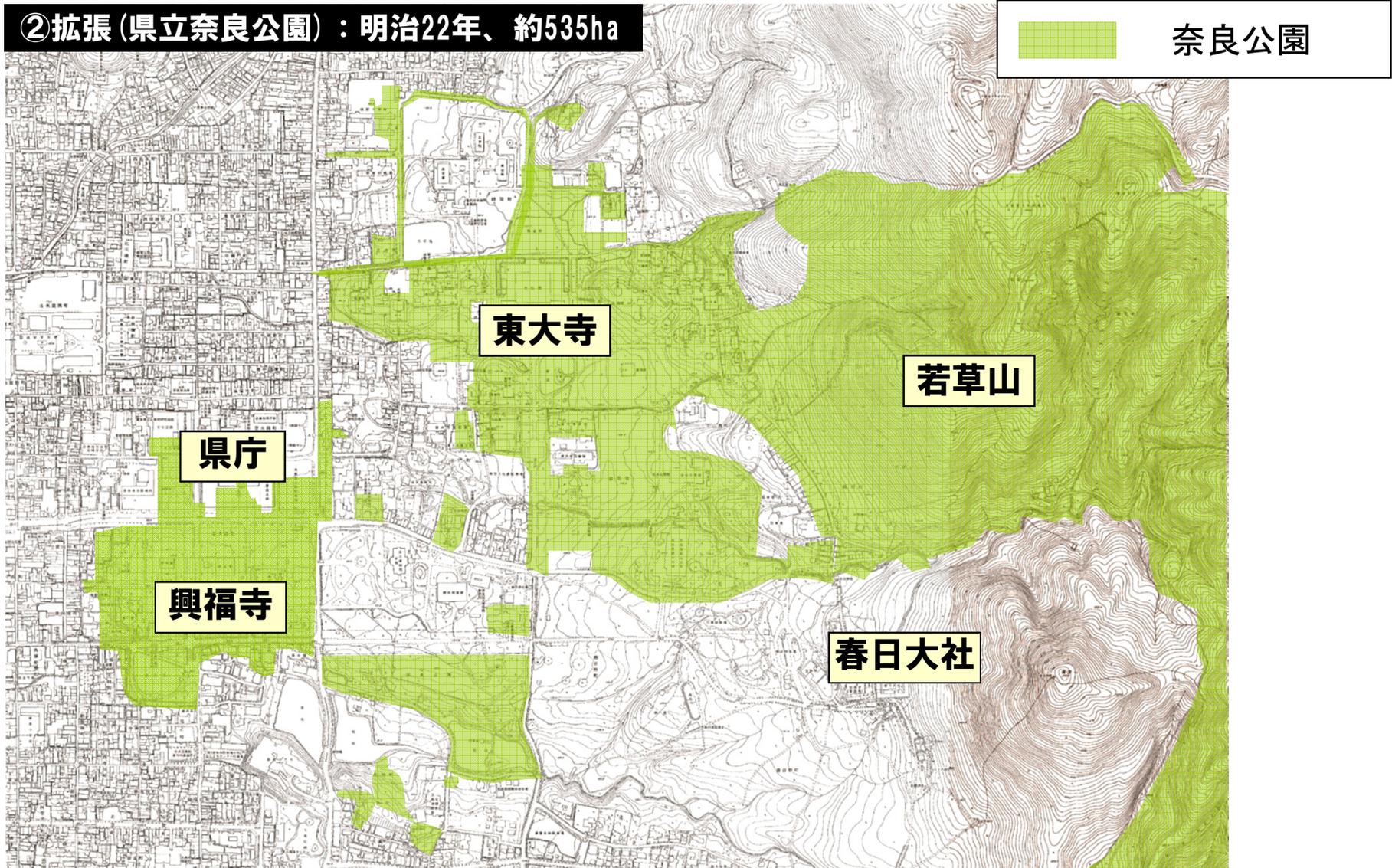
春日大社

1. 奈良公園の変遷

2. 拡張・充実、名勝指定（明治20年～昭和2年）

- ・ 奈良県再設置（明治20年）に伴い、奈良公園の拡張と整備に注力
- ・ 平坦部、東大寺等の社寺境内地、山野を編入し県立奈良公園として告示（明治22年）
- ・ 名勝奈良公園に指定（大正11年～昭和2年）

②拡張（県立奈良公園）：明治22年、約535ha



I. 奈良公園の変遷

3. 社寺境内地の解除（昭和15年～昭和26年）

- 官が没収していた社寺境内地についての法律が整備され、東大寺、興福寺等の社寺境内地で公園地に指定した範囲を解除し、社寺へ払い下げ

③社寺境内地の解除：昭和15年・昭和24年～26年、約500ha

